

高知県東部広域地域公共交通協議会 第2回総会 議事録（要旨）

（日 時） 平成30年10月18日（木）10:00 から 11:30

（場 所） 県立あき総合病院 やまのホール

（次 第）

- 1 開会
- 2 報告等
  - （1） 各種調査結果の報告（資料1）
  - （2） あき総合病院前駅（仮称） の設置検討について  
（資料2）（資料2 別紙）
- 3 議 事
  - 計画目標と実施項目について（資料3）
- 4 その他
  - 今後のスケジュールについて（資料4）
- 5 閉会

（内 容）

1 開会

2 報告等

（1） 各種調査の報告

事 務 局：委託事業者から、資料1に沿って説明。

委 員：その他をどう見るかが気になる。例えば6ページの高齢の方が外出されている目的のその他の割合が多いが、具体的には何がどのくらい多いのか。

委託事業者：友人の家に遊びに行く、などの回答が多くなっている。

委 員：そうした想定されていない項目があれば、別で出してほしい。

もう1つは24ページのその他について、これは高校生に直接訊いているということで、高校生の移動は親に依存することが多いかと思うが、そうした中で「その他」が14%というのは、何が含まれているのか、特徴は分析できているのか。

委託事業者：今後、詳しく調べていく。なお、24 ページのその他については、「スクールバスがあるから」などの回答がある。

(2) あき総合病院前駅（仮称）の設置検討について

事務局：高知県（副会長）から、資料 2・P1～3 および資料 2 別紙に沿って説明。

委託事業者から、〈周辺住民ニーズ調査〉資料 2・P4 に沿って説明。

委員：新駅の 1 億 5,000 万円の予算の中に駐輪場の整備等が含まれるのか。学生、高齢者等の利用者が増え、そこに自転車を駐輪する。十分な駐輪場が確保されない場合、路上や歩道への駐輪が発生すると、事故につながる、あるいは自転車盗による治安の悪化を招くことになるので、きちんと考えてほしい。

あと、駅から降りる方のメインを高齢者とすると、駅からあき総合病院への動線をどのように考えるかも検討してほしい。従来通り歩道の利用を想定か、もしくは駐車場内を通過する動線が発生する場合、駐車場内での事故を懸念する。人間心理として最短コースを通りたいため、駐車場内での事故防止に、いかなる対策を取っていくかを、懸念する。それに合わせて、利用者が増えた場合、パークアンドライドを、あき総合病院にあらかじめ協力をいただかないと、無断で駐車する利用者が増えることも、懸念する。

最後に、駅で高齢者が多く降りる、しかも病院に行くということで少なからずの診療費を持っていると、駅が犯罪のソフトターゲットとなるので、できれば防犯カメラの整備をお願いしたい。安芸駅は駅員が常駐しており、防犯カメラもあるので、犯罪抑止力となっているが、無人駅では、犯罪が増加することが懸念されるので、そのあたりの対策も検討した上で予算組みをしてほしい。

この位置に駅ができれば、高校通学者の利用も考えられ、警察としても交通対策できるところは、当然ながら検討しますし、安芸市のご協力を得て、道路改良等も必要かと思う。

高知県（副会長）：詳細については未定だが、具体的に新駅設置に向けて動き出すようになれば、当然安芸市や安芸警察署とも調整していきたい。

なお、動線については、基本的には歩道を想定しているが、人間心理として駐車場を直線的に移動することも考えられるので、あき総合病院とも調整を進めていきたいと思う。

### 3 議事

「計画目標と実施項目について」

事務局：委託事業者から、資料 3 に沿って説明。

- 委員：自動運転について、政府は2年後のオリンピックの段階で、首都高では自動運転もできるように、というのを目玉として掲げている。これに合わせて、警察庁でも急ピッチで制度等の整備を進めている。実際に、茨城県つくば市では、無人のバスで自動運転の実験を行っている。近い将来に自動運転が現実となると、さらなる公共交通利用者の減少が見込まれる一方、車両と労働力の確保・運行の効率化に自動運転が入ってくる可能性もある。現実となってから対策すると大変かと思うので、そういったことも視野に入れた上で検討いただければ。2年後に実際に走らせることによって、膨大なデータが集まり、すぐに一般道でも自動運転をとということになるかと思うので、少し遠い話にはなるが、承知いただきたい。
- 会長：自動運転については、私たちも意識がそれほど高くなかったが、技術の進歩は我々の考え以上に進んでいる。自動運転について何かあるか。
- 高知県（副会長）：今、高知県だけでなく、運送業全体でのドライバー不足が深刻となっている。例えば、バスの世界は、ドライバーが確保できないために便数を減らす、あるいは路線を廃止しなければならないという深刻な状況になっている。こちらについては、何か手がないか県でも取り組みをしているところだが、日本全国でドライバーが不足し、人材の取り合いになっている。それを補完する手段として自動運転は有効な手段と考える。まもなく実装され社会に出てくるかとは思っているので、しっかりと情報収集を行い、直ちに実施するかは別にして、注目はしていきたい。
- 高知県（副会長）：今回の資料はさわりとなるが、このような大規模な調査を実施したのは今回が初めてかもしれない。事業者の皆様が肌感覚で考えていたこと正しかった、あるいは実は違っていたということが出てくると思う。今日この場でご意見がなくても、この調査をもとにこのようなことが考えられないかということも寄せてほしい。事務局から委員の皆様を検討すべき内容を尋ねる場も持ちたいと思うので、よろしくお願ひしたい。
- 委員：私どもはのいち駅の管理を行っているが、昨年よりのいち駅利用者が約1万人増えている。主な要因としては、訪日外国人の増加、パークアンドライド、免許返納による今まで利用されていなかった高齢者の利用である。「弱者にやさしい交通機関」ということで、今後こうした方の乗降人数は増えていくと思う。
- 委員：実施項目案の提示については、策定目標とする年次に対し、達成する目標を細かく決めて役割分担をするというのが大事と思うので、今回の公共交通網形成計画ではどこまで書くのか、ということが重要である。例えば自動運転もしかり、訪日外国人の話もしかりでして、社会情勢は5年で大きく変わるので、例えばダイヤ再編はどのような考え方で、5年後どうあるべきか、運賃の見直しについてもいくらにすればいいのかを、現時点での目標を記載するのか、5年後には適正にするという形にするのかで大きく変わってくるかと思うが、そのあたりはどういう方針か。あるいは、この場にいる人達が何をしなければいけないのかを、ど

のように示すつもりなのかを教えてください。

委託事業者：今回は、案として示している。例えば運賃については交通事業者と、というように、この案をもとに皆様と調整を進めていき、具体化できるものはどんどん具体化していきたい。ただ、状況によっては難しいということもあると思うので、状況に合わせて検討という形にするなど、今後調整していきたい。

委員：今回、人口減少のグラフも示していただいているので、5年後でも随分変わってくるので、10年先にどうなっているはずだ、それに対してこのような作業が必要ですよというのを計画として示してほしい。その際、意見はあるか、という聞き方では意見が出てこないと思うので、例えばダイヤの編成であれば、便数を1単位増やすのに、どれくらいのコストがかかり、どれくらいの利用者の増加が見込まれるのかというような、具体的なデータを示しながら意見を募るのがよいと思う。

会長：「計画目標と実施計画（案）」に、今回の意見を反映したものを土台として、今後の具体的な取組を検討したいと思うが、よろしいか。

（異議なしの声）

それでは今回の協議内容に従い、具体的な取組内容の検討に入ることとする。

なお、今後、各取組分野において、関係する方々にお声がけをして「分科会」を開催したい。参画いただく方には、また事務局から連絡をする。お忙しいところかとは思いますが、ご協力のほどよろしくお願いしたい。

#### 4 その他

##### ・今後のスケジュールについて

事務局：委託事業者から、資料4に沿って説明。

質問、意見なし。

##### ・全般的なことについて

委員：折角膨大なデータがあるので、生活圏を可視化する、地図化するというようなことはできないか。

委託事業者：住所を細かく聞いているわけではないが、市町村単位で目的別の移動方向を示すという程度であればできるかと思う。

委員：地図に示すことでかなり見えやすくなるので、検討いただければ。

委託事業者：今回、買い物と通院に着目してパーセンテージを示したものがあるので、こちらを矢印で示すような作業を進めていきたいと思う。

委員：例えば駅勢圏を考える際のヒントにするなどの使い方ができるかと思う。

委員：スケジュールの中で分科会とあるが、実際に計画を実施する際は、高知県や安

芸市が事務局となり、関係機関に声かけして、分科会として費用等について相談していくでよいか。

高知県（副会長）：網形成計画で事業を検討する際に、年度単位でどれくらいの費用が必要となるか見えるので、費用負担をどうするかについては別途相談すると思う。

## 5 閉会

事務局：計画策定業務の進捗について、先に説明のあった「分科会」のほかにも、意見を伺うべき案件が出てきた際は、その都度、事務局から各委員さんに連絡する。次回協議会は12月を予定しているが、日程調整については、また改めてお知らせする。